

◆ 昭和22年度～昭和24年度

県中体連発足まで

終戦直後の体育指導の混迷の中から、対外試合を統一しようとする動きが指導者の間で高まった。

昭和24年8月、甘楽郡一の宮において県下中学校中堅指導者講習会の際、中学校における体育の健全な発達と振興を目的に、県下中学校体育団体を統一する気運が盛り上がった。

これを機会に梅津正名（前橋三中校長）が中心となり、飯島正夫（佐波宮郷中）・堀江峯吉（群大附属中）・戸所柳造（前橋三中）・石田久弥（県教委）・藤口末光（県教委指導主事）らが相寄り発起人会をつくり原案が作成された。

その後、各郡市に呼びかけ準備委員会が組織された。

◆ 昭和25年度

・県中体連結成準備委員会を開催し、5月21日県中体連発会式を群馬大学附属中学校講堂において実施する。

・本連盟の規約を堀江峯吉を中心に作成し、6月5日理事・評議員会において制定する。

・本連盟初代会長に梅津正名校長（前橋三中）が就任する。

・事務局は前橋三中に設置する。（6月5日）

研究部及び競技部（11部）の専門部で第一歩を踏み出す。

体操・野球・ソフトボール・バスケットボール・バレーボール・庭球・卓球・陸上競技・水泳・スキー・スケート

・予算は、負担金で大部分をまかなうこととし、生徒一人1円の割合とする。

・バレーボール 男子の部 大会はじまる。

◆ 昭和26年度

・柔道部を新設、柔道大会を実施する。

・県駅伝大会を実施する。

・シーズン制と大会期間について意見があり、その調整を検討する。

・事業の内容から負担金値上げについて審議をする。

◆ 昭和27年度

・中学校生徒の対外試合について、主催・回数など教育的取り扱いについて確認する。

・負担金生徒一人2円となる。

◆ 昭和28年度

・スキー部、水上・草津両会場で第1回大会を実施する。

・負担金生徒一人、3円に値上げをする。

・研究活動の活性化について協議する。（競技大会開催だけでないこと）

・各競技会をいくつかの時期にまとめる案がでる。（夏・秋・冬）

◆ 昭和29年度

・6月関東中学校体育連盟が東京都庁において結成され、加盟する。

◆ 昭和30年度

- ・ 本連盟第2代会長に茂木保太郎校長（前橋一中）が就任する。
- ・ 事務局を前橋一中に移転する。
- ・ 7月全国中学校体育連盟が東京で結成され、加盟する。
- ・ 全国規模の第1回全国中学校通信水泳大会・第1回全国中学校放送陸上大会が開催される。